独立行政法人国立病院機構

京都医療センター附属
京都看護助産学校

NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION KYOTO MEDICAL CENTER
SCHOOL OF NURSING AND MIDWIFERY

感じる心
考える力
主体的に行動する

看護学科
Department of Nursing

助産学科
Department of Midwifery

MESSAGE

看護師・助産師をめざす皆さんへ

看護師・助産師は、人の生命の尊さに向き合い、喜びや苦悩といった様々な感情に寄り添います。そしてどのような時であっても安心して暮らせるよう、その人らしい生活、心や身体を統合して考え、専門的な支援をしています。
当校では、看護実践に必要な知識・技術・態度を学びます。看護実践では、相手の反応（サイン）に気づき（感じ）、その意味を考え、行動することを大切にしています。
看護師をめざす高校生・他学部で学んだ大学生・社会人経験者の皆さん！助産師をめざす皆さん！
先輩や同級生、助産学科と看護学科双方の学生と学びあい、教員や講師、実習指導担当者と関わり合いながら一緒に考え、内省し成長していきましょう。信頼される看護職者として成長したいと志している人たちをお持ちしております。

【 ナースキャップの誓い 】
学校エントランス中央階段に、ナースキャップをデザインしたモビールが飾られています。看護師を目指した学生が自らの誓いを意識し、勉学に励むことを応援する象徴となっています。

PHILOSOPHY

～ 教 育 理 念 ～

人間愛、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とし、感じる心、考える力、主体的に行動する学生を育成する。そして、看護専門職として必要な知識、技術、態度を習得し、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

感じる心 対象の多様な価値観や信念を認め心情に気づくこと

考える力 専門的知識を活用し分析・判断する力

主体的に行動する 感じ考えたことを表現し、倫理観に基づいて行動し、自己の体験を省察し、よりよい看護を創造すること

～ 教 育 目 的 ～

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

【 戴帽式 】
灯火に包まれながら戴帽生全員で
「ナイチンゲール誓詞」を唱和します

国立病院機構ならではの本校の魅力

学びがしっかり

POINT 1

【看護学科】 看護実践力が身につく教育

講義で学んだ専門的知識をもとに、訓練モデルやシミュレーターを用いて技術を習得します。自己の技術を磨くための練習では、放課後にも教員から指導を受けることができる体制を整えています

学びがしっかり

POINT 2

【助産学科】専門性の高い 実践能力が身につく教育

分娩介助技術演習では動画を撮影し、教員・学生同士でふり返りを行います。また実習前後で臨床推論やOSCE（客観的臨床能力評価）を行う等、実践場面を想定した技術教育が充実しています

学びがしっかり

POINT 3

経験豊かな 講師陣による講義

国立病院機構の第一線で活躍する各医療に従事するスペシャリスト、豊かな臨床・教育経験を持つ教員による講義を受けることができます

実習がしっかり

POINT 4

高度総合医療施設である 京都医療センターなどで臨地実習

学校で講義を担当した講師が、臨地実習でも指導をしてくれます。また、京都医療センターでは卒業生が多く働いており、指導経験豊富な先輩が優しく丁寧に教えてくれます

国試にしっかり

POINT 5

全国平均を上回る 高い国家試験の合格率

看護学科、助産学科共に入学初期から国家試験に向けた学習方法の指導を行っています。また、経年に合わせた事例を用いてシミュレーション学習を行い、根拠に基づいた看護を理解し実践できるよう指導しています

就職にしっかり

POINT 6

就職率100％ 近畿を中心に活躍

看護学科の学生は、7割以上が国立病院機構の病院に就職し活躍しています。助産学科の学生は、国立病院機構をはじめ官公立の法人の病院に就職しています

看護学科

Department of Nursing

3年課程
募集人数80名

国立病院機構ならではの しっかりとした看護教育で 実践力のある看護師を 育成します。

当校は、昭和24年から看護基礎教育に取り組む伝統ある学校です。これまでに3,500名あまりの卒業生を輩出し、全国で活躍しています。また、看護教員は看護経験の実績があり、全員、教員養成講習会を受講しており、安心して学びを深められる学習環境が整っています。
そして当校は、医療をリードしていく看護実践力を持つ看護師を育成するため、生涯学習し続ける、感性豊かで主体的・積極的な行動をとることができるような教育課程となっています。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

1. 当校の教育理念を理解し、看護職として活躍したい人
2. 他者への関心を持ち、多様な価値観を感性豊かに感じ取ることができる人
3. 看護の専門的知識・技術を修得できる基礎学力を有する人
4. 主体的に勉学に取り組み、努力を継続できる人
5. 誠実で責任のある行動がとれる人

ディプロマポリシー（卒業認定に関する方針）

1. 生命の尊厳と個々の人権を擁護し、倫理に基づいて行動できる能力を有する
2. 対象を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された存在として幅広く理解する能力を有する
3. 看護の対象との人間関係を形成するためのコミュニケーション能力を有する
4. 科学的根拠に基づいた看護実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を有する
5. 健康の保持・増進、疾病の予防および健康の回復に関わる看護やその変化に応じて実践する基礎的能力を有する
6. 地域包括システムにおける自らの役割および他職種の役割を理解し、多職種との連携・協働する基礎的能力を有する
7. 看護専門職としての責務を自覚し、主体的に看護を探求し続ける能力を有する

CURRICULUM

自らの五感をつかって観察し、思いを感じとる力を身につけます

安全に患者さんの生活を支える技術を身につけるため、練習を積み重ねます

シミュレーターを装着し、患者さんの気持ちを考えながら、診療の補助技術を身につけていきます

知識を活かし、身体に起こっていることを観察し、判断する技術を身につけます（フィジカルアセスメント技術）

学生間で意見交換しながら、コミュニケーション力を高め、自らの考えを深め、広げていきます

【卒業時に取得できる資格】

- 専門士（医療専門課程）称号授与
- 看護師国家試験の受験資格
- 保健師・助産師学校受験資格
- 養護教諭特別別科の受験資格
- 大学編入の受験資格

当校助産学科への推薦制度があります

【講義】

分野	単位数	時間数
基礎分野	14単位	390時間
専門基礎分野	22単位	495時間
専門分野	44単位	1110時間
基礎看護学	11単位	330時間
地域・在宅看護論	7単位	150時間
成人看護学	6単位	165時間
老年看護学	4単位	90時間
小児看護学	4単位	90時間
母性看護学	4単位	90時間
精神看護学	4単位	105時間
看護の統合と実践	4単位	90時間
計	80単位	1995時間

【臨地実習】

科目	単位数	時間数
基礎看護学実習	4単位	180時間
地域・在宅看護論実習	2単位	90時間
成人老年看護学実習	8単位	360時間
小児看護学実習	2単位	90時間
母性看護学実習	2単位	90時間
精神看護学実習	2単位	90時間
統合看護実習	3単位	135時間
計	23単位	1035時間
総計	103単位	3030時間

MESSAGE 在校生メッセージ

主体的に考え、行動できる看護師をめざして

2年生では、看護師になる者として、自分のことだけではなく、関わる人たちの気持ちを考え、相手の立場に立った言葉かけや率先した行動につなげられるように学年全体で取り組んでいます。中核学年として、学校行事の企画をして運営する機会も増えます。講義、実習だけでなく、学校生活を通して自分たちを高めることができています。

社会人経験を活かして新たなチャレンジ

看護師になりたい気持ちが消えず、社会人を経験してから入学しました。久しぶりの講義や技術試験といった学校生活を、これまでの経験も活かし、楽しみながら過ごしています。幅広い年齢層のクラスメイトとの学習は、異なる価値観に触れる機会となり、学びが深まることを実感しています。

看護師国家試験合格に向けて日々切磋琢磨

実習や講義など充実した生活を送っています。実習では、悩むことはありますが、仲間への相談や指導者さん、先生からの助言を受け、看護をふり返り患者さんがより良い療養生活を送れるように実習に励んでいます。同じ夢を持つ仲間が全員国家試験に合格できるよう頑張っています。

助産学科

Department of Midwifery

1年課程
募集人数18名

助産師として
母子の健康を支える
知識や技術を
1年間で学べます。

当校の助産学科は昭和44年に附設されて以来、50年以上の歴史と伝統のある学科です。卒業生は1,500名以上となり、全国各地で活躍しています。助産師は母子を中心として、女性の一生の性と生殖の健康課題に関わる専門職です。近年、母子を取りまく社会情勢は変化しており、助産師に期待される役割は大きくなっています。当校では、助産の知識と技術を身につけ、医師と協働しながら、関係職種と連携を図り、助産師としての責務、倫理観に基づいて意思決定し、専門職として生涯にわたり、自己研鑽し続ける姿勢を養う教育を行っています。 ※看護学科からの指定校推薦制度があります。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

1. 助産師になる明確な動機と強い意思をもち、論理的思考と優れたコミュニケーション能力を有している人
2. 看護の基礎的能力を有し、助産の専門的知識と実践能力を身につけるための自己学習能力の高い人
3. 生命の尊厳に対する感性と倫理観をもち、責任をもった行動のできる人
4. 感じ・考え・主体的に行動する力をもち、人との協働を通じて学び合うことができる人
5. 生涯を通じて自己研鑽する姿勢をもち、助産師として国立病院機構及び社会に貢献しうる人

ディプロマポリシー（卒業認定に関する方針）

1. 看護専門職としての責務を自覚し、倫理に基づいて行動する能力を有する
2. 専門知識を活用して分析・判断・行動する力を持ち、助産の基礎的な実践能力を有する
3. リプロダクティブ・ヘルス／ライツの視点から女性およびその家族を継続的に支援する能力を有する
4. 多職種と連携・協働し、対象者に必要な社会資源の活用や調整を行う能力を有する
5. 多様化する社会のニーズと高度化する医療に対応できるよう、常に自己研鑽し続ける姿勢を有する

CURRICULUM

《専門性の高い講義》臨床経験豊富な講師陣から専門性の高い講義を受けます

《シミュレーション教育》模擬妊婦の妊婦健診を実施して、みんなでリフレクションします

《妊婦健診OSCE》基本的な妊婦診察、臨床推論が身についているか確認します

《分娩介助技術演習》産婦への声かけ、基本的な児娩出介助技術を繰り返し練習します

《「ファミリー教室」開催》妊婦さんとその夫を迎え、学生主体で健康教育を実施します

【卒業時に取得できる資格】

- 助産師国家試験受験資格
- 受胎調節実地指導員指定申請資格
- 新生児蘇生Aコース

病院敷地内に助産学科学生が
入居可能な宿舎があります。
詳しくはホームページをご覧ください。

【講義】

科目	単位数	時間数
助産学概論	1単位	15時間
母子の基礎科学	1単位	15時間
ウィメンズヘルスケア論	1単位	30時間
母性の心理・社会学	1単位	30時間
助産学研究Ⅰ	1単位	15時間
助産学研究Ⅱ	1単位	15時間
周産期の診断・治療論	2単位	45時間
助産診断・技術学Ⅰ	2単位	45時間
助産診断・技術学Ⅱ	1単位	30時間

科目	単位数	時間数
助産診断・技術学Ⅲ	2単位	45時間
助産技術演習	1単位	30時間
助産臨床推論	2単位	45時間
健康教育技法	1単位	30時間
地域母子保健	2単位	45時間
助産管理学	2単位	30時間
計	21単位	465時間

【臨地実習】

科目	単位数	時間数
助産学実習Ⅰ 妊娠期	2単位	90時間
助産学実習Ⅱ 分娩期	3単位	135時間
助産学実習Ⅲ 産褥・新生児期	2単位	90時間
助産学実習Ⅳ 女性のライフサイクル	1単位	45時間
健康教育実習	1単位	45時間
地域母子保健実習	2単位	90時間
計	11単位	495時間
総計	32単位	960時間

MESSAGE 在校生メッセージ

恵まれた環境のもとで実習指導が受けられます。

私は当校の看護学科から推薦制度で進学しました。助産学科では入学後すぐに専門性の高い講義や妊婦診察、分娩介助などの技術練習が始まり、知識や技術が身につくのを感じます。実習施設の指導体制はとてもしっかりしており、恵まれた実習環境で学べるのも魅力の一つだと思います。

実践を重視した講義や演習で毎日が充実しています。

私は看護師として3年間の経験を積んだ後、入学しました。助産学科では7月の実習が始まるまでにシミュレーション学習やOSCEに取り組みます。また、臨床推論学習プログラムがあり、臨床で必要なアセスメントから助産診断までの思考をしっかり学べます。1年間仲間たちと高め合いながらめざす助産師になりたいと思います。

TOPICS

カリキュラムの特長 “実践力がしっかり身につく”

1.シミュレーション教育およびOSCE※（オスキー）
実習前のシミュレーション教育、妊婦健診OSCE、卒業前の分娩介助OSCEに取り組みます。
※OSCE：Objective Structured Clinical Examination

2.臨床推論学習プログラム
実習開始までに一定の臨床推論力を習得します。

3.学生主体で取り組む健康教育実習
中高生への性教育「赤ちゃん講座」、妊婦と家族への出産準備教育「ファミリー教室」の企画・運営・実施・評価を通して、保健指導の力をしっかり身につけます。

年間予定

看護学科

4月

【1年次】
・入学式
・人間関係論（学外研修）

学外研修

【2年次】

始業

【3年次】
・近畿グループ採用試験

・始業　・消防訓練　・健康診断

5月

・看護の日記念行事

看護の日記念行事

学生が製作したマスコットキャラクター「ココロん」

・領域別実習開始
・成人老年看護学実習Ⅲ・Ⅳ
・精神看護学実習
母性看護学実習

6月

NHO病院の担う医療や看護について、理解を深めるため、各病院からの説明を聞くことができます

・基礎看護学実習Ⅲ

・地域・在宅看護論実習
統合看護実習Ⅰ

7月

・就職説明会

・看護技術試験
技術を身につけるため、1年次には技術の試験があります
練習を繰り返し、しっかり身につけていきます

・学生フォーラム
近畿グループ内4校の学生が、企画・運営を行いフォーラムを開催しています。その中で、学びや交流を深める機会となっています

口述発表

8月

・夏季休業（5週間）

9月

・近畿看護学会

・看護技術試験

10月

・戴帽式
・看護技術試験

ボランティア活動
クリスマスコンサート

・統合看護実習Ⅱ

11月

・基礎看護学学習Ⅰ

12月

・ボランティア活動

・成人老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ
・小児看護学実習

・看護実践演習（OSCE）
・多職種連携演習
・看護師国家試験強化講義

・冬季休業（2週間）

1月

・基礎看護学学習Ⅱ
・看護技術試験

・看護師国家試験強化講義

2月

・看護技術試験

技術試験

・ケーススタディ
・NHO病院
就職指定校推薦

・看護師国家試験
・ボランティア活動

ボランティア活動 院外清掃

・看護観のまとめ ・卒業生を送る会

3月

・卒業式

・春季休業（3週間）

助産学科

4月

・入学式
・助産技術演習開始

入学式

5月

・妊婦健診
シミュレーション/OSCE

6月

・分娩介助技術試験
・新生児系統的診察法、新生児蘇生法
・会陰縫合演習

新生児蘇生演習

7月

・実習開始
・京都母性衛生学会参加

8月

・夏季休業
・産直実習開始
・地域母子保健実習開始

9月

・「赤ちゃん講座」開催
・「ファミリー教室」開催

「赤ちゃん講座」開催

10月

・学会参加

11月

12月

・実習終了
・冬季休業

1月

・助産学研究発表
・国試対策

2月

・助産師国家試験
・卒業前分娩介助OSCE

3月

・卒業式

卒業式

1日のスケジュール

看護学科
助産学科

講義・演習

登校
8:15

1限目
9:00〜10:30

2限目
10:40〜12:10

お昼休み

3限目
13:10〜14:40

4限目
14:50〜16:20

実習

登校/実習施設
実習準備
8:00

午前の実習
8:30〜

お昼休み

午後の実習

グループで
カンファレンス
15:30〜

実習のまとめ/
記録
16:00〜

実習終了
17:00〜

放課後自習（自由参加）

帰宅　家で自己学習、アルバイトをする学生もいます

グループワークでの学び

司書がいる図書館

実習室で技術練習（教員による指導あり）

完全下校　18:30

実習がしっかり 実習施設 Training hospital

看護学科

- NHO京都医療センター
- NHO宇多野病院
- NHO南京都病院
- NHO紫香楽病院
- NHOやまと精神医療センター

- 介護老人福祉施設
- 訪問看護ステーション
- 保育園、児童館 など

助産学科

- NHO京都医療センター
- NHO大阪医療センター
- NHO大阪南医療センター
- NHO東近江医療センター
- NHO南京都病院

- 国立循環器病研究センター
- 足立病院
- 中部産婦人科
- 市立福知山市民病院
- 保健福祉センター
- 市立奈良病院
- 児童館、小学校 など
- 助産院

主な実習施設である国立病院機構（NHO）は、全国に140の病院を持つ日本最大の医療ネットワークです。

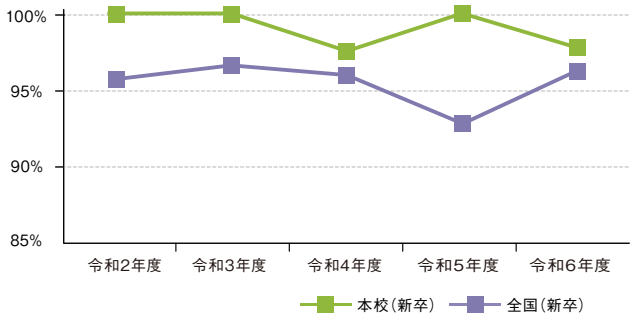
京都医療センターは、高度急性期総合医療施設として幅広い機能と役割を担う施設です。他のNHO病院も急性期から慢性期とさまざまな機能を持っており、効果的な実習ができています。実習施設と学校は密接に連携をとり教育活動を行っています。看護職は人の命に向き合い、専門的な知識と技術で患者さんを支援する存在です。本校では、看護師、助産師としての知識・技術を修得することはもとより、我が国の医療問題を考え、仲間と共にその改善を目指すような医療人に育って欲しいと期待し、育成に努めています。

国試にしっかり 国家試験対策 National examanation

科目の学習に加え、1年次から国家試験を意識した学習サポートを開始し、模擬試験も実施しています。
3年次には、特別講義や学習サポートをさらに強化します。全国平均と比較し、高い合格率です。

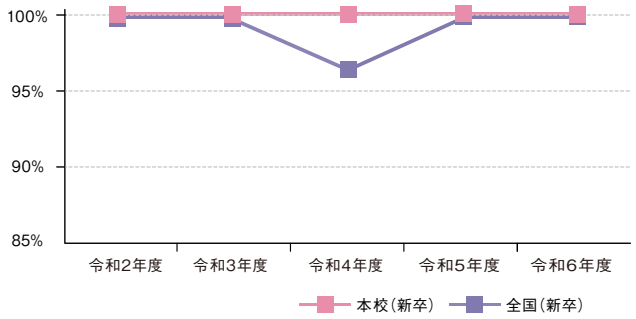
看護学科 国家試験合格率

《令和2年度》	《令和3年度》	《令和4年度》	《令和5年度》	《令和6年度》
100%	100%	97.2%	100%	97.6%



助産学科 国家試験合格率

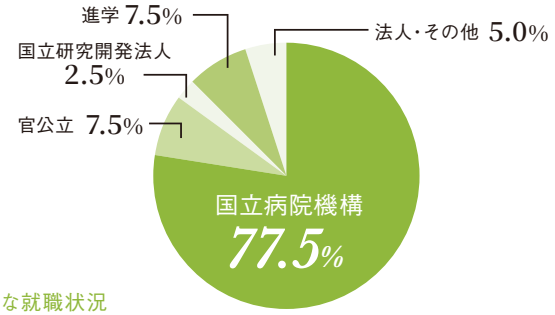
《令和2年度》	《令和3年度》	《令和4年度》	《令和5年度》	《令和6年度》
100%	100%	100%	100%	100%



就職がしっかり 進路 Future

看護学科 就職率 100%

卒業後の就職・進学率は100%です。就職に関しては、約8割が国立病院機構に就職しています。進学に関しては、当校の助産学科への進学が多く、その他看護大学へ編入しています。



主な就職状況（国立病院機構）

- NHO京都医療センター
- NHO宇多野病院
- NHO南京都病院
- NHO東近江総合医療センター
- NHO紫香楽病院
- NHO奈良医療センター
- NHO大阪医療センター
- NHO大阪刀根山医療センター

（その他）

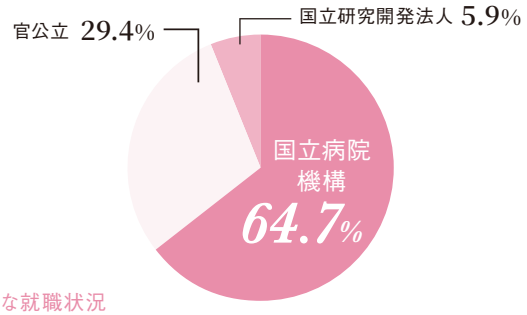
- 官公立
- 京都第一赤十字病院
- 京都府立医科大学附属病院

主な進学先

- 京都医療センター附属京都看護助産学校 助産学科

助産学科 就職率 100%

卒業後の就職率は100%です。約7割が国立病院機構に就職しています。



主な就職状況（国立病院機構）

- NHO京都医療センター
- NHO大阪医療センター
- NHO大阪南医療センター
- NHO東海北陸グループ病院
- NHO九州グループ病院
- NHO関東信越グループ病院
- NHO中国四国グループ病院

（その他）

- 京都府内産科施設など

入学金・授業料・諸経費

看護学科 3年間合計 約2,218,500円

入学金	250,000円
授業料（年間：550,000円 4月・10月に分けて納入）	1,650,000円
テキスト代（3年間）	約180,000円
演習服・白衣・シューズ等	約50,000円
損害賠償保険料・健康診断等	約23,500円
実習交通費	約65,000円
合計	約2,218,500円

助産学科 1年間合計 約1,395,000円

入学金	350,000円
授業料（4月・10月に分けて納入）	年額700,000円
テキスト代等	約140,000円
模擬試験代	約10,000円
実習に必要な白衣・分娩衣・靴等	約30,000円
健康診断の感染症の血液検査代（一部学校負担あり）	約10,000円
損害賠償保険料等	約5,000円
実習旅費・宿泊費等	約100,000円
学会参加の交通・宿泊費等　※実費	約50,000円
合計	約1,395,000円

※オンライン授業に関する媒体代および通信費は別途必要となります。

奨学金・修学支援制度

- □ 奨学金：国立病院機構 ／ 日本学生支援機構 ／ 京都府看護師等修学資金
- □ 高等教育の修学支援制度
- □ 社会人学生のための専門実践教育訓練給付金制度

FACILITIES 充実した実習施設と快適な学習環境

エントランス

教室

視聴覚室

情報科学室

看護実習室

在宅看護実習室

病床モデル

母子看護実習室

図書室

体育館

食堂

屋上

独立行政法人国立病院機構

京都医療センター附属 京都看護助産学校

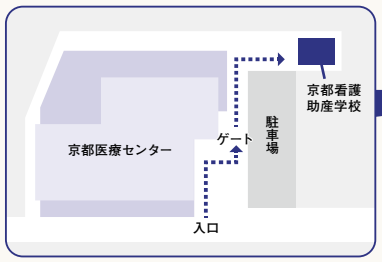
〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1番地1
TEL:075-641-9191　FAX:075-642-5664
Mail:404-gakko@mail.hosp.go.jp

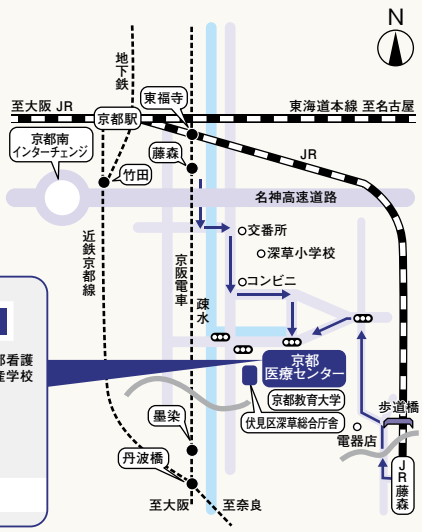
京都看護助産学校

Access

【 JR京都駅から 】
JR奈良線で8分「JR藤森」駅下車、
学校まで徒歩12分

【 京阪淀屋橋駅から 】
京阪本線で約45分「藤森」駅下車、
学校まで徒歩8分





2025.04